

次世代がん医療加速化研究事業 令和 8 年度公募 説明資料

令和 8 年1月
AMED創薬事業部 疾患医薬品研究開発課

【AMED 第3期の運営方針】

～ 現場中心主義（研究現場や成果導出先との対話を基礎とする組織体制/風土の形成）の推進 ～

「現場中心主義」を徹底しつつ、以下の取組を通して、研究開発とその環境整備及び人材育成等を牽引・後押しすることにより、健康・医療分野における我が国の研究開発活動の活性化や底上げ、ひいては健康長寿社会の実現に向けて貢献する。

事業間連携の取組の強化※

※38ページ参照

研究開発事業及び課題の間をつなぎ、切れ目なく連続した支援を可能とする仕組み（ペアリング、マッチング）を構築・導入する。その際、研究開発の目利きをはじめ出口戦略の立案やそれら実施に向けた案件調整等に取り組むシンクタンクの機能と機動性を向上させた調整費を有効に活用し、研究支援を充実させていく。

研究開発の初期段階からの産学協創・企業導出

上記の研究支援の充実を図りつつ、初期段階からアカデミアと企業が協創して研究開発を進め、企業の視点による各シーズ・技術への支援等を実施することにより、最適な開発段階（基礎・応用研究から臨床研究まで）での企業導出を促進する。

社会実装・貢献へつながる成果創出のための基礎研究の充実

研究者の自由な発想と社会的な要請を踏まえた基礎研究を継続的・安定的に支援し、また、その基礎研究の成果と先端的技术開発との融合を図ることにより、医薬品及び医療機器等の開発の源泉となるイノベーションの種を絶え間なく創出していく。

国際展開の推進

国際的に優れた研究成果の創出に向け、国際共同研究の戦略的・機動的な推進や海外ニーズを取り込んだ国際共同治験への参画により、日本人研究者の国際的なトップサークルへの参入を促進するとともに、次世代の優秀な研究者同士の交流や関係構築の強化をする。また、国内外の医薬品市場を見据えた創薬エコシステムを構築する。

医療分野の研究開発のDX

AIをはじめ、生成AIや量子技術等の先端技術を用いた医療分野の効果的・効率的な研究開発を促進する。そうした取組において基盤となるデータベースの構築・整備及び活用を見据えたデータマネジメントに取り組む。

【事業概要】

次世代がん医療加速化研究事業（P-PROMOTE）の方向性

次世代がん医療加速化研究事業（P-PROMOTE）は、「がん研究10か年戦略」等に基づくがん研究の推進を目的に、内閣総理大臣を本部長とする健康・医療戦略推進本部の下、基礎研究から実用化に向けた研究まで一体的に推進していきます。

事業期間は令和4年度～令和10年度の7年間を予定し、各年度に計画される研究開発課題の公募と支援を通じて、「がん研究10か年戦略」を踏まえ、がんの根治・予防・共生の観点に立ち、患者・社会と協働するがん研究を推進することとし、特に、**革新性・独自性が高く、国際競争力のある基礎的研究**、すなわち、がんの本態解明に迫る**「真理の探究」、****「基本原理の解明」**や**「新たな知の発見、創出や蓄積」**の深化を図り、治療・診断の標的としての妥当性を検証することで、それらの基礎的研究成果を踏まえた次世代がん治療・診断法の迅速な社会実装に向けた研究開発を加速・展開します。

【次世代がん医療加速化研究事業 令和8年度公募】

公募枠	領域
応用研究フェーズ	研究領域（A～E）5領域
探索研究フェーズ （次世代PI育成枠）	研究領域（A～E）5領域

【研究開発費の規模・研究開発期間 ・採択課題予定数等について】

分野等、公募研究開発課題		研究開発費の規模 (間接経費を含まず)	研究開発実施 予定期間	新規採択 課題 予定数
研究領域A～E 共通	応用研究フェーズ	1 課題当たり年間 上限17,000千円	令和8年度 ～ 令和10年度 3年間	各領域 0～3 課題程度
	探索研究フェーズ (次世代PI育成枠)	1 課題当たり年間 上限5,000千円	令和8年度 ～ 令和9年度 2年間	各領域 0～3 課題程度

【直接経費と間接経費】

公募要領では、研究費の規模を「**直接経費**」で記載しています。

※公募要領に規定されている単年度当たり**予算上限を超えていた場合は不受理とします。**

研究費の規模：1課題当たり 年間 17,000千円上限（間接経費を含まず）
or
1課題当たり 年間 5,000千円上限（間接経費を含まず）

間接経費については、研究機関の経理・契約担当者にご相談ください。
間接経費は直接経費の30%（目安）となります。ただし、30%を超えることは出来ません。

例）応用研究

直接経費17,000千円、間接経費30%



令和 8 年度	
直接経費	17,000千円
間接経費	5,100千円
研究費総額	22,100千円

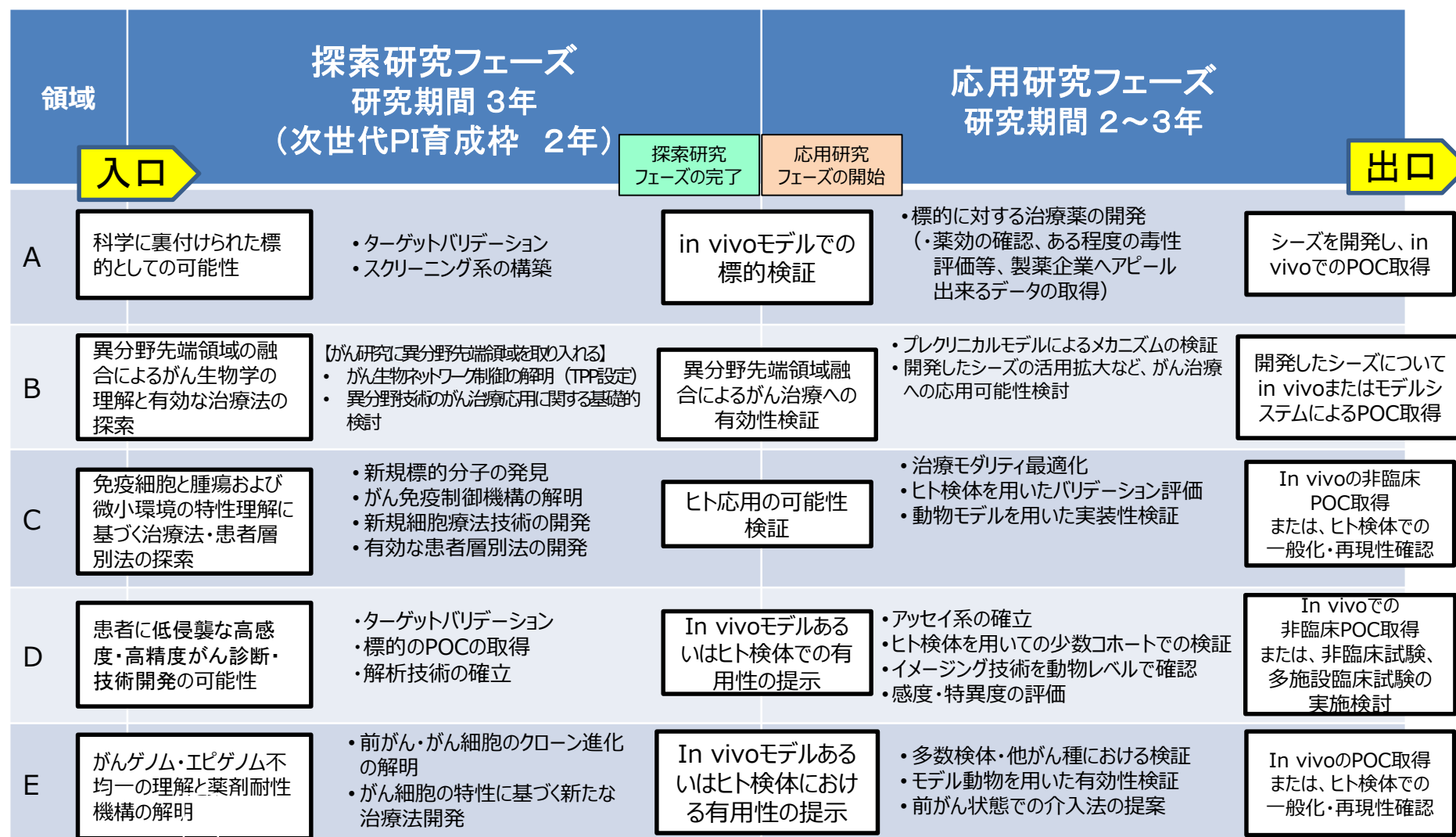
例）次世代PI育成枠

直接経費5,000千円、間接経費30%



令和 8 年度	
直接経費	5,000千円
間接経費	1,500千円
研究費総額	6,500千円

【P-PROMOTEでの研究領域と研究推進の考え方】



【重複制限について】

- 本事業では研究開発代表者として参画できる研究課題は1件のみです
- 本事業の研究参画者は、下記の表（重複制限）を参照して応募してください

本事業の研究参画者		本公募（研究領域A～E：応用研究、次世代PI育成枠）	
		研究開発代表者	研究開発分担者
研究推進サポート機関	研究開発代表者	×	×
	研究開発分担者	×	○
応用研究採択課題 （研究領域A～E）	研究開発代表者	×	○
	研究開発分担者	○	○
探索研究採択課題 （研究領域A～E）	研究開発代表者	×	○
	研究開発分担者	○	○
次世代PI育成枠採択課題 （研究領域A～E）	研究開発代表者	×	○
	研究開発分担者	○	○
戦略的研究枠採択課題 （革新的基礎研究）	研究開発代表者	×	○
	研究開発分担者	○	○

企業に所属の研究者が研究代表者としては応募出来ません

なお、企業に所属の研究者が研究開発分担者として提案に含まれることは可能です

【選考スケジュール】

公募要領 P.8

「応用研究フェーズ」「探索研究フェーズ（次世代PI育成枠）」

提案書類の受付期間・選考スケジュール

提案書類受付期間	令和 7 年 12 月 26 日（金）～令和 8 年 1 月 26 日（月） 【12:00】（厳守）
書面審査	令和8年2月上旬～令和8年2月下旬（予定）
ヒアリング審査	<ul style="list-style-type: none">・ 領域A：令和8年3月23日（月）（予定）・ 領域B：令和8年3月20日（金・祝日）（予定）・ 領域C：令和8年3月 9日（月）（予定）・ 領域D：令和8年3月15日（日）（予定）・ 領域E：令和8年3月14日（土）（予定）
採択可否の通知	令和 8 年 5 月下旬（予定）
研究開発開始 （契約締結等）日	令和 8 年 6 月上旬頃（予定）

【注意事項】

以下の場合には提案書類が不受理となります！

No.	必要な提案書類	公募要領 記載ページ
1	提案書の様式および記載の領域がeRadで選択した研究フェーズまたは研究領域と異なる申請	2.1 研究開発費の規模・研究開発期間・採択課題予定数等について 注意事項（1） (p 6)
2	規定されている予算上限を超えた申請	2.1 研究開発費の規模・研究開発期間・採択課題予定数等について 注意事項（3） (p 6)
3	ヒト全ゲノムシーケンス解析を実施する課題での「ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコール様式」の未提出	3.5 データシェアリング 【特に留意すべき点】 (p 27) ヒト全ゲノムシーケンス解析 (全エクソーム解析を含む) を 実施しない場合は不要

【お問い合わせ先】

■ 公募課題、申請書の記載方法等の問い合わせ

AMED創薬事業部疾患医薬品研究開発課

次世代がん医療加速化研究事業 公募担当

E-mail : koubo-jisedai@amed.go.jp

※お問合せは電子メールでお願いします。

必ず件名に「研究領域名」の記載をお願いします。

■ e-Radシステムの操作方法

e-Radポータルサイトヘルプデスク

Tel: 0570-057-060（ナビダイヤル）

利用できない場合は 03-6631-0622（直通）

受付時間 9:00～18:00（平日※）

※土曜日、日曜日、国民の祝日及び年末年始（12月29日～1月3日）を除く

研究開発提案書の留意点

ご自身の提案内容と合致していることを必ずご確認ください

(様式 1-1)

日本医療研究開発機構 次世代がん医療加速化研究事業
令和8年度公募 応用研究フェーズ 研究開発提案書

注 提出する際には、青文字の記載例と緑文字の説明文を削除してください。

注 日本語以外で記入する場合は、原則英語を使用してください。

研究開発課題名 (英語表記)	日本語表記	〇〇に関する研究開発
	英語表記	Study of 〇〇
公募名(事業名)	次世代がん医療加速化研究事業 令和8年度公募 応用研究フェーズ 研究領域〇 ※領域名を必ずご記入ください。	
研究開発期間(本提案における全研究期間)	令和XX年X月X日 ~ 令和XX年X月X日	
研究費総額(直接経費)	全研究期間での研究費総額(X0,000 千円) ※「7. 各年度別経費内訳」の全研究期間の研究開発費合計と同じ金額を記載ください。	
ヒト全ゲノムシーケンス解析*	<input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 実施しない ※いずれかに☑。実施する場合、ヒト全ゲノムシ	

研究領域を必ず記載してください。
提案書に記載した領域を確認の上、e-Radでも該当する研究領域で応募してください。
提案書の様式および、記載の研究領域が e-Rad で選択した公募枠（該当する研究フェーズ・研究領域）と異なる場合は、応募を不受理とします。

研究開発費の上限額として規定されている額を超えないようにご注意ください。金額を超えた場合は不受理とします。

必ずチェックしてください。
研究開発計画においてヒトの全ゲノムシーケンス解析（次世代シーケンサーを利用した全ゲノムシーケンス解析及び全エクソーム解析）を実施するにあたっては、その解析に用いるプロトコル情報の提出が必須です。

ご自身の提案内容と合致していることを必ずご確認ください

(様式 1-2)

日本医療研究開発機構 次世代がん医療加速化研究事業
令和8年度公募 探索研究フェーズ(次世代 PI 育成枠) 研究

注 提出する際には、青文字の記載例と緑文字の説明文を削除してください。

注 日本語以外で記入する場合は、原則英語を使用してください。

研究開発課題名 (英語表記)	日本語表記 英語表記	〇〇に関する研究開発 Study of 〇〇
公募名(事業名)	次世代がん医療加速化研究事業 令和8年度公募 探索研究フェーズ(次世代 PI 育成枠) 研究領域〇 ※領域名を必ずご記入ください。	
研究開発期間(本提案における全研究期間)	令和 XX 年 X 月 X 日 ~ 令和 XX 年 X 月 X 日	
研究費総額(直接経費)	全研究期間での研究費総額(X0,000 千円) ※「7. 各年度別経費内訳」の全研究期間の研究開発費合計と同じ金額を記載ください。	
ヒト全ゲノムシーケンス解析*	<input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 実施しない ※いずれかに☑。実施する場合、ヒト全ゲノムシー	
若手枠の確認 (若手枠の設定がある場合)	若手 <input type="checkbox"/> ※若手枠の要件に合致し若手枠として応募する場合は☑	

研究領域を必ず記載してください。
提案書に記載した領域を確認の上、e-Radでも該当する研究領域で応募してください。
提案書の様式および、記載の研究領域が e-Rad で選択した公募枠(該当する研究フェーズ・研究領域)と異なる場合は、応募を不受理とします。

研究開発費の上限額として規定されている額を超えないようにご注意ください。金額を超えた場合は不受理とします。

必ずチェックしてください。
研究開発計画においてヒトの全ゲノムシーケンス解析(次世代シーケンサーを利用した全ゲノムシーケンス解析及び全エクソーム解析)を実施するにあたっては、その解析に用いるプロトコール情報の提出が必須です。

7. 各年度別経費内訳

※課題申請時に規定されていた予算上限を超えていた場合は不受理とします。

【全体】

(単位:千円)

大項目		中項目	R8 年度	R9 年度	R10 年度	計
直接経費	1.物品費	設備備品費		直接経費小計は申請する研究フェーズの年間上限額を超えないようにしてください。		
		消 耗 品 費				
	2.旅 費	旅 費				
	3.人件費・謝金	人 件 費※1				
		謝 金				
	4.その他	外 注 費※2				
		そ の 他				
研究開発費 合計						
間接経費 (上記経費の 30%以内)						
計上額 総計						

直接経費小計は申請する研究フェーズの年間上限額を超えないようにしてください。

7. 各年度別経費内訳

【全体】

PI人件費制度を利用する場合は研究開発提案書に必ず記載してください。
計上額の年度途中の増額は不可

(単位:千円)

大項目		中項目	R8 年度	R9 年度	R10 年度	計
直接経費	1.物品費	設備備品費				
		消耗品費				
	2.旅 費	旅 費				
	3.人件費	人 件 費※1				
	・謝金	謝 金				
		外 注 費※2				

※ 研究力向上のための制度（PI人件費）の利用を希望する場合は、以下の条件を満たしていることを確認の上、以下の項目を記載ください。審査の対象となります。（希望しない場合は、記載不要です。）

- ① 直接経費にPIの人件費（の一部）を計上することについて、PI本人が希望していること。
- ② PI が所属する研究機関において、確保した財源を研究力向上のために適切に執行する体制が整備されていること。

PI が所属する研究機関において、研究の業績評価が処遇へ反映されるなどの人事給与マネジメントを実施していること。

※ 研究力向上のための制度（PI 人件費）とは？ : <https://www.amed.go.jp/keiri/youshiki.html>
■ 研究力向上のための制度（PI 人件費）に関する記載も審査の対象となります。
■ 当該制度を利用する場合は、提案時の記載が必須です。
■ 上記の記載額に関わらず、研究の進捗状況等を鑑みて、年度ごとの契約時に PS, PO が認める範囲のみに制限されることがあります。

応用研究フェーズ（別添） シーズに関する自己評価シート（１）

以下①～⑦について、ご自身の研究シーズが該当するもの（該当するものが複数ある場合は、該当するものすべて）にチェックを入れてください。このシートの根拠となる成果又は情報について、研究開発提案書の「1. 研究の目的・背景（3）研究開発の目標・ねらい・準備状況」に記載してください

① 治療標的・診断マーカーとしての新規性・独創性	チェック
このリストに一致していない提案もあるかと思いますが 読み替えて一番近いものを選んでください	
<ul style="list-style-type: none"> 研究者が独自に見出した標的である 	
<ul style="list-style-type: none"> 既知の標的ではあるが、でがん領域ではほとんど 	
<ul style="list-style-type: none"> 既知の標的であり、カ化されたものはない 	
<ul style="list-style-type: none"> 既知の標的であるため、 	
② 治療標的・診断マーカーとしての Proof of Concept (POC)	チェック
すでに堅強な POC が確立されている標的・マーカーである	<input type="checkbox"/>
In vivo 動物モデルを用いて POC を取得している	<input type="checkbox"/>
In vitro での POC を取得している	<input type="checkbox"/>
POC は未取得である	<input type="checkbox"/>
ご自身の研究課題における POC の定義を記述してください。↓ ○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	

応用研究フェーズ（別添） シースに関する自己評価シート（2）

③治療標的・診断マーカーの対象がん種	チェック
・臨床検体を用いて標的分子の発現量等が確認済みであり、対象となるがん種を絞り込んでいる	<input type="checkbox"/>
・公的データベースの情報を元に、対象となるがん種を絞り込んでいる	<input type="checkbox"/>

・アンメットメディカルニーズに基づき、上記いずれかには☑を入れた場合に（○○○、○○○○）

・さまざまながん種に対して効果がない

④薬剤スクリーニングや薬効評価のための実験系の構築状況等	チェック
・薬効評価に必要な in vivo 動物モデル評価系を構築している	<input type="checkbox"/>
・薬効評価に必要な in vitro での評価系を構築している	<input type="checkbox"/>
・薬剤スクリーニングに使用できる in vitro での評価系を構築している	<input type="checkbox"/>
・バイオマーカーの測定に使用する ELISA 等の定量系を構築している	<input type="checkbox"/>
・臨床検体を用いた in vitro でのバイオマーカー評価系を構築している	<input type="checkbox"/>
・In vitro、in vivo 評価系ともに現在準備中であり、まだ構築できていない	<input type="checkbox"/>

応用研究フェーズ（別添） シーズに関する自己評価シート（3）

⑤論文文化・知財化		チェック
・すでに必要な知財化を行い、論文公表も実施している	<input type="checkbox"/>	
・すでに必要な知財化を行っていないが、論文公表も実施している	<input type="checkbox"/>	
⑥競合優位性		チェック
・学術的な成果	・独自に見出した標的であり、特許も出願または取得済みで優位性が確保できている	<input type="checkbox"/>
・知財化、論文	・独自に見出した標的であるが、特許の出願/取得は出来ていない	<input type="checkbox"/>
・現在のところ	⑦企業との共同研究等の連携状況	
	・既知の標的であるが、	チェック
	・既知の標的であるが、	<input type="checkbox"/>
	・特許化等、知財戦略	番号↓ (○)
上記に☑を入れた場合には、以下の企業と共同研究の具体的レベルについて該当番号を記載してください↓		
①実施許諾、②権利譲渡、③企業主導の実用化に向けての共同研究の開始		
・企業と共同研究には至っていないが、守秘契約を結んで協議を開始している		<input type="checkbox"/>
・幾つかの企業に共同研究の打診を行っているところである		<input type="checkbox"/>
・現在のところ、上記の状況には至っていない		<input type="checkbox"/>

(3)研究開発の目標・ねらい・準備状況

- 研究開発の目標(研究開発期間終了時に達成しようとする、研究開発成果の目標)、研究開発のねらい(上記研究開発成果によって得られるアウトカム及びその意義)、研究開発の準備状況(これまでに進めている研究内容や企業の連携状況等)を具体的に記載してください。
- 研究開発の準備状況に関連して、本提案書末尾の「(別添)シーズに関する自己評価シート」の④の根拠となる情報を記載してください。

8. 研究業績

- 「研究開発代表者」及び「研究開発分担者」ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの(概ね一人につき 10 編以内)を選択し、提案課題に直接関連するものとそれ以外に分け、それぞれ直近年度から順に記載してください。←
- 特許権等知的財産権の取得及び申請状況、並びに研究開発課題の実施を通じた政策提言(寄与した指針又はガイドライン等)を記載してください。←

←

(1)研究開発代表者 ○○ ○○←

<論文・著書>←

① 提案課題に直接関連する論文・著書←

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbbb, A.Cccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020, 1,10-20 ←

② 上記以外の論文・著書←

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbbb, T.Cccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26←

<特許権等知的財産権の取得及び申請状況>←

←

<政策提言>←

○○○○○○ガイドライン(○○学会編 XXXX 年)←

10.これまでに受けた研究費とその成果等 (1)

(1)提案の研究立案に寄与した研究費とその成果

- 本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者がこれまでに受けた研究費(所属機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受け入れている研究費も含む。)による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、次の点に留意し記載してください。
- 次世代がん医療加速化研究事業(P-PROMOTE)/次世代がん医療創生研究事業(P-CREATE)およびその他のAMED事業、並びにそれ以外の研究費に区別して記載してください。
- それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間(年度)、課題名、代表者又は分担者の別、研究経費(直接経費)を記載してください。また、研究の概要、成果及び中間・事後評価(当該研究費の代表者のみ)結果も簡潔に記載してください。

←

(記載項目)

資金制度名:

期間(年度):H 年度～H 年度

課題名:

代表者又は分担者の別:

研究経費(直接経費): 千円

研究成果及び中間・事後評価結果(当該研究費の代表者のみ):

10.これまでに受けた研究費とその成果等 (2)

(記載例)←

【次世代がん医療加速化研究事業(P-PROMOTE)/次世代がん医療創生研究事業(P-CREATE)】←

- ① AMED 次世代がん医療加速化研究事業、R5～R7、「〇〇に関する研究」、代表者、10,000 千円←
この研究では〇〇について明らかにすることを目的に、△△、□□を行った。その結果、××××であることを見出し、XXXX 誌で発表した。また、☆☆☆に関する解析を行う中で得た〇〇の知見から提案研究に繋がる着想を得た。事後評価では〇〇〇〇〇〇〇の評価を得た。←
- ② AMED 次世代がん医療創生研究事業、H30～R1、「〇〇に関する研究」、分担者、10,000 千円←
××××の成果を得た。←

←

【その他の AMED 事業】←

- ① AMED 〇〇事業(A)、H27～H29、「〇〇に関する研究」、代表者、40,000 千円←
××××の成果を得た。事後評価では〇〇〇〇〇〇〇の評価を得た。←
- ② AMED 〇〇事業(B)、H29～R1、「〇〇に関する研究」、代表者、40,000 千円←
××××の成果を得た。事後評価では〇〇〇〇〇〇〇の評価を得た。←

←

【それ以外の研究費】←

- ① 基盤研究(B)、H26～H28、「〇〇に関する研究」、代表者、40,000 千円←
××××の成果を得た。事後評価では〇〇〇〇〇〇〇の評価を得た。←

- TPP・TRP は、創薬研究等、実用化を目指した研究開発を進める上で重要な指針となるものです。本事業では、がん研究の早期段階から研究者自身が具体的な創薬目標(対象がん種、想定される効能等)を意識することが重要であるとの考えに基づき、本項目の記載をお願いしています。←
- TPP・TRP は研究の進行に伴い更新されていく可能性があるものです。本項目には提案時点において提案者が考えるものを具体的に記載してください。←
- 本事業では、TPP・TRP を採択後の研究開発マネジメントに活用し、研究推進を図ります。←

TPP(Target Product Profile)←

どのような医薬品／実用化イメージを目指しているのかについて記載してください。←

記載例(TPP と TRP の例の番号は対応しています):←

(例 1)Y がんに特異的に発現する X を用いた早期診断キットの臨床検査薬←

(例 2)大腸がん細胞特異的にデリバリーすることが可能な、抗がん剤とコンジュゲートした DDS 製剤←

(例 3)生体内で大腸がん細胞のイメージングが可能なイメージング用分子←

(例 4)活性型キナーゼ A を有する XX がんに対し、選択的な経口投与可能な抗がん剤○○○○←

TRP(Target Research Profile)←

TPP を達成するために、どのような研究を行うのかについて記載してください。←

記載例(TPP と TRP の例の番号は対応しています):←

(例 1)取得したモノクローナル抗体を用いた X の ELISA での測定系を構築し、Y がんの組織及び血漿中の濃度を測定することによる早期診断、層別化の可能性を判断する。←

(例 2)大腸がん細胞特異的に抗がん剤 W を送達可能な DDS 用分子 X-W コンジュゲートを開発する。←

参 考

||= e-Rad入力マニユアル

e-Rad登録時の注意点

1. 令和8年度の「次世代がん医療加速化研究事業」への応募は、府省共通研究開発管理システム（e-Rad）を必ず利用してください。
2. e-Radの使用に当たっては、研究機関および研究者の事前登録が必要です。登録手続きに日数を要する場合がありますので、実際に開始を希望される日付の1週間以上前に登録を済ませてください。また、すでに登録されている方でも異動等により登録情報に変更があった場合には、速やかにe-Rad登録情報を変更し、常に最新の情報となるようにしてください。
3. この文書は応募の流れを簡単に説明するものです。実際に応募する際は、e-Radポータルサイト（<https://www.e-rad.go.jp/>）上にある「研究者向け マニュアル」をご参照ください。また、同マニュアルは、更新されることがありますので、随時確認してください。
4. 研究代表者が申請した段階では応募は完了していません。所属機関のe-Rad事務代表者が承認手続きを終えた段階で応募が完了することに留意してください。
5. 締切直前は応募が混み合い、申請に予想以上の時間がかかったり、登録がスムーズに進まない可能性がありますので、余裕を持った応募を心がけてください。締切を過ぎた応募は受理できません。**締切令和8年1月26日（月）12時【厳守】**

e-Rad登録時の注意点

●[応募（新規登録）]画面で**公募名を必ず確認し、必ず正しい公募に登録してください。**
素晴らしい提案であっても、公募名を間違えて選択して登録すると、公募の趣旨が異なるために受理になりません。

- 公募【応用研究フェーズ／探索研究フェーズ（次世代PI育成枠）
- 研究領域（A～E）

選択にご注意下さい！

応募（新規登録）

応募を行うに当たって必要となる各種情報の入力を行います。

公募名をまず確認

応用研究フェーズでは、

A-1
B-1
C-1
D-1
E-1

探索研究フェーズでは、

A-2
B-2
C-2
D-2
E-2

公募年度／公募名 2026年度 / 次世代がん 研究領域A（治療ターゲット） A-1 応用研究フェーズ

課題ID／研究開発課題名

必須

XXXXXXXX /

100文字以内

一時保存中の課題を配分機関に
公開する ?

必須



公開する



公開しない

書類の登録の注意事項

【基本情報】

基本情報-申請書類				
	名称	形式	サイズ	ファイル名
参考資料	様式1-1 研究開発提案書（応用研究フェーズ） 必須	[PDF (PDF)]	30MB	<input type="text"/> 参照 クリア 削除
	ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコル様式	[PDF (PDF)]	10MB	<input type="text"/> 参照 クリア 削除
	動物実験に関する自己点検・評価結果	[PDF (PDF)]	10MB	<input type="text"/> 参照 クリア 削除
	PMDAの対面助言の記録等	[PDF (PDF)]	10MB	<input type="text"/> 参照 クリア 削除

[必須]と表示されているファイルをアップロードしないと登録完了できません。

指定場所に書類をアップロードしてください。

- 応用研究フェーズ
- 探索研究フェーズ（次世代PI育成枠）

- **（様式1-1）** 研究開発提案書
- **（様式1-2）** 研究開発提案書

書類作成

「研究開発提案書」および、その他必要書類を作成して下さい。

● ファイル名について

アップロードするファイル名には 所属先名・氏名を必ず記載してください。

＊研究開発提案書：提案書_〇〇大学_栄目土太郎.pdf

＊ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコール様式：ゲノム_〇〇大学_栄目土太郎.pdf

＊PMDAの事前面談・対面助言の記録等：PMDA_〇〇大学_栄目土太郎.pdf

＊動物実験に関する自己点検・評価報告書：動物_〇〇大学_栄目土太郎.pdf

● e-Radへのアップロードは全てPDF形式のみとなります。

応募情報の登録（研究経費・研究組織）

基本情報

研究経費・研究組織

個別項目

応募・受入状況

研究経費

年度ごとの経費の登録を行います。
「1.費目ごとの上下限」を確認しながら、「2.年度別経費内訳」を入力してください。

1.費目ごとの上限と下限

	上限	下限
直接経費	(設定なし)	(設定なし)
間接経費	(直接経費の30%)	-

2.年度別経費内訳

※2028年度はスライダーを右にスライドすると出てきます。

大項目	中項目	2026年度	2027年度	合計
直接経費	物品費	- 必須 <input type="text"/> ,000 円	<input type="text"/> ,000 円	0 円
	旅費	- 必須 <input type="text"/> ,000 円	<input type="text"/> ,000 円	0 円
	人件費・謝金	- 必須 <input type="text"/> ,000 円	<input type="text"/> ,000 円	0 円
	その他	- 必須 <input type="text"/> ,000 円	<input type="text"/> ,000 円	0 円
	小計		0 円	0 円
間接経費 (上記経費の30%以内)	間接経費 必須 <input type="text"/> ,000 円	<input type="text"/> ,000 円	0,000 円	
合計		0 円	0 円	0 円

「研究経費・研究組織」のタブをクリックして入力

この欄に間接経費額を入力してください

応募情報の登録（研究経費・研究組織）

研究組織

1. 申請額（初年度）の入力状況

「1.申請額（初年度）の入力状況」を確認しながら、「2.研究組織情報の登録」の各費目をここで入力した各費目の金額の計は、上記の「研究経費」の「2.年度別経費内訳」で入力してください。

「研究経費」で入力した額と「研究組織」で入力した額との差額がゼロにならないと登録が完了しません。

	初年度の申請額	研究者ごとの金額合計	差額
直接経費	0 円	0 円	0 円
間接経費	0 円	0 円	0 円

2. 研究組織情報の登録

課題に参加するメンバーと、研究メンバーごとの研究経費初年度を入力してください。研究経費は、上の表の「研究者ごとの金額合計」に反映されます。

 行の追加

 選択行の削除

研究者を検索	研究者番号 生年月日 氏名（年齢）	研究機関 部局 職/職階 必須	専門分野 学位・取得年月 日・大学 役割分担 必須	直接経費 間接経費 必須	エフ ォ ー ト （%） 必須	閲覧・ 編集権限	削除	移動
	<div>代表者</div> XXXXXXXX YYYY/MM/DD ○○ ○○○ (XX歳) (△△△△ △△△△)	○○機関 ○○部局 ○○長/○○クラス	<input checked="" type="checkbox"/> ○○学位・ YYYY/MM/ DD・○○ 大学	<div> <input type="text"/> ,000 円 </div> <div> <input type="text"/> ,000 円 </div>	<input type="text"/>			

この欄に代表者、分担者別の「直接経費」「間接経費」の額を入力してください。

 行の追加

クリックして分担者を追加

 選択行の削除

直接経費と間接経費

例) 探索研究
(次世代PI)

公募要領では、研究費の規模を「**直接経費**」で記載しています。

※公募要領に規定されている単年度当たり予算上限を超えていた場合は不受理とします。

4. 予算規模等 (研究費、研究期間、採択)

研究費の規模：1課題当たり 令和8年度 5,000千円上限 (間接経費を含まず)

間接経費については、研究機関の経理・契約担当者にご相談ください。
間接経費は直接経費の30% (目安) となります。ただし、30%を超えることは出来ません。

令和8年度 直接経費5,000千円、間接経費を30%



令和8年度	
直接経費	5,000千円
間接経費	1,500千円
研究費総額	6,500千円

応募手続き完了の確認

- 応募情報の入力が完了すると、応募課題のステータスが「応募中/申請中/研究機関処理中」になります。

※この段階では応募は完了しておりません。

- 本公募は研究機関の**承認**が必要な公募です。
- 研究機関の事務代表者が**承認**してはじめてAMEDに応募ファイルが送られ、「応募中/申請中/**配分機関処理中**」になります（これで応募完了です）。

締切までに

「応募中/申請中/配分機関処理中」
となっていることが必要です。

（e-Rad上の画面で確認できます）

一時保存中の入力再開など、操作方法の詳細に関しては、
e-Rad研究者向け操作マニュアルをご参照ください。